住民のための市政を！！

ごうつ民報

日本共産党江津市委員会
電話　５２－２６３３
ＦＡＸ　５２－７２４４
ＮＯ．２４６６
２０２１年９月１９日

９月議会 森川よしひで市議の一般質問①

江津市議会の一般質問で、日本共産党江津市議団の森川よしひで市議が「小中学校の学校健診」を取り上げました。

学校健診を活かして 子どもの健康を守る取り組みを

森川よしひで市議

学校健診は教育委員会・学校の義務

森川　学校保健安全法では、市教育委員会・学校に児童・生徒への年１回の健康診断の実施を義務付けている。市内の小中学校での実施状況は。

学校教育課長　健康診断は、身長・体重・栄養状態、脊柱・胸郭の疾病と異常、四肢の状態、視力・聴力・目の疾病と異常、耳鼻咽頭の疾病と皮膚疾患、歯・口腔の疾病と異常、結核の有無、心臓の疾病と異常、尿について行い、時期は６月末までとなっている。

森川　学校健診を欠席した児童・生徒への対応は。

学校教育課長　休んだ児童・生徒には、病院で健康診断を受けてもらっている。

森川　あおぞら学園に通う不登校の児童・生徒への対応は。

学校教育課長　本来通う学校で、受けられれば受けていただく。

◇◆◇◆◇◆◇

通うことできない学校で「受けられれば受けていただく」。法律の定めに則ったやり方と言えるでしょうか。

健診結果が治療につながらない？

森川　学校健診で治療が必要とされた児童・生徒が適切な医療を受けているか。実態は。

学校教育課長　健診で症状があった場合、保護者に医療機関での受診を求めているが、２０２０年度での未受診は小学校で眼科41％・耳鼻科48％・内科64％・歯科42％、中学校で眼科80％・耳鼻科73％・内科52％・歯科89％だった。

森川　中学生の未受診率が高い要因は。

学校教育課長　例えばアレルギー性鼻炎ですでに受診している場合でも、健診で症状があれば保護者に受診を勧める。この場合、保護者が報告の書類を学校へ提出しないことが想定される。また、受診の際に保護者が学校発行の書類を持参しなかった場合も、学校へ報告が提出されない。あくまで保護者の協力で受診をしてもらうもので、何度も受診勧奨するのは難しい。

森川　児童・生徒が適切な医療が受けていると言えるか。

学校教育課長　保護者が必要と判断すれば、適切な受診が行われていると考える。

◇◆◇◆◇◆◇

子どもたちが適切な医療を受けられない可能性を、保護者のみの責任として良いのでしょうか。

行政が子どもを守れ

森川　教育委員会としての受診対策は。

学校教育課長　健診で症状が認められた児童・生徒数は、江津市教育研究会養護部会の学校保健統計調査で毎年報告を受けていますが、健診結果から受診を勧めた児童・生徒のその後の状況は把握していない。

森川　保護者への周知の状況は。

学校教育課長　全ての保護者へ通知し、医療機関での受診が必要な児童・生徒の保護者には、治療の勧奨や保健指導も行い、受診状況次第では個別に声かけも行っている。また、重大な疾病が懸念される場合には、学校医へ相談し、保護者へ文書以外でも早急な受診を勧める。保護者の協力の下、児童・生徒の健康の保持に努めている。

森川　複数回やるのか。

学校教育課長　文書通知は１回だが、重大な疾病が懸念される場合には、早期受診のために電話連絡もしている。

森川　医療機関との連携は。

学校教育課長　健診結果は江津市教育研究会養護部会から、学校医・学校歯科医・学校薬剤師・ＰＴＡ・校長会・江津市教育研究会の代表で構成する江津市学校保健会へ報告され、生活習慣病の予防や食生活など多様な観点からの分析や調査報告とあわせ、年度末に発行する『江津の学校保健』で共有している。

森川　新型コロナウイルス感染症の市内での感染例が増えているが、学校健診に与える影響は。

学校教育課長　今後複数年にわたり、感染症流行による受診控えの可能性も想定し、注意深く確認していくことが重要。引き続き医療機関の助言を得ながら、学校や保護者と連携し、児童・生徒の心身の健康の維持・増進に取り組んでいきたい。

◇◆◇◆◇◆◇

子どもたちの健やかな成長には、病気の早期発見・早期治療が重要です。子どもたちの健康を守るためには、行政が勧奨を尻込みしている場合ではありません。

市内小中学校での未受診率

		眼科	耳鼻科	歯科	内科
２０１８年度	小	37%	67%	57%	71%
	中	72%	82%	60%	46%
２０１９年度	小	34%	31%	47%	47%
	中	50%	67%	66%	53%
２０２０年度	小	41%	48%	42%	64%
	中	80%	73%	89%	52%

悩み・困りごと
ご相談ください

森川よしひで
０９０－７３７９－１５５４

多田伸治
０９０－６０１４－２２５９

9月議会 多田伸治市議の一般質問①

8日、日本共産党江津市議団の多田伸治市議が、市議会の一般質問で「災害と防災」を取り上げました。

4年で3回となる被災から住民のくらしと生業を守る支援の充実を

被災者への生活再建支援の拡充を

多田　8月の災害被災者は、過去2回の被災と合わせて生活再建や家屋の修繕に多大な負担がのしかかる。市独自の支援もあるが、国・県の支援と合わせても足りない。さらなる支援の充実を求める。

社会福祉課長　家屋は私有財産であり、加入している損害保険で補償されるべきもの。県内他市町村にはない市独自の床下浸水への20万円の補助もある。これ以上の支援は、ニーズを把握していく中で、国・県に要望していきたい。

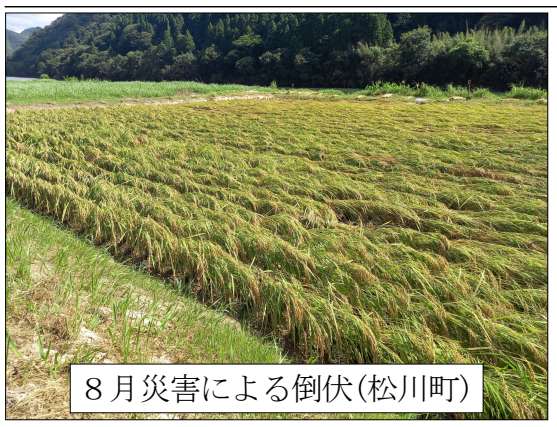
多田　立て続けの被災で、江の川沿川ひいては江津市に住めなくなる。市だけでなく国・県へ施策の充実を求める必要があるのではないか。

社会福祉課長　ニーズ把握で支援が必要ならそういった活動も考える。

農産物再生産への支援

多田　江の川沿川の農地では農作物が被害を受けた。高齢化が進む地域でもあり、これを機に離農するとの声も聞かれるが、農業は江津市の基幹産業。再生産が可能となる農作物への補償を求める。

農林水産課長　収入等支援制度もあるが、4年間で3度の被災で農業への意欲を失う被災者へ、寄り添えるよう支援していく。


8月災害による倒伏(松川町)

多田伸治市議

多田　心遣いも大事だが、金銭的支援がないと農業は続けられない。ただ、市だけで全ての生産物への補償は難しい。国・県へ再生産可能な農産物への補償を求めるか。

農林水産課長　全国で災害が起こっており、国からは具体的な制度の発動がないが、制度に取り入れてもらうこと、事態に対応できる制度を要求したい。

手続きの軽減で被災者支援を

多田　被災しても仕事や雑事で復旧だけに集中できない。しかも、公的な支援・補助を受けるには役所での手続きが必要になる。被災者への配慮として、受けられる支援を全て受けてもらえるよう、各戸を訪問して支援制度の案内・説明・受付を行うことを求める。

総務課長　建物被害認定調査を行い、罹災証明について申請書と返信用封筒を届け、負担軽減と早期対応を図っている。被災直後は支援制度が確定しておらず案内も難しいため、その後自治会と個別向けに案内を行ってきた。被災者の負担軽減策として、被災者宅への案内のための訪問・地域ごとでの相談窓口の設置も考えられるが、職員の人員配分を考える必要がある。国・県の情報や他市の例を参考に、より良い対応を検証していきたい。

防災計画に住民の声を活かすため行政としてのサポートを

6月の一般質問のおさらい

多田　6月定例会の一般質問でも江の川治水・防災について質問し、地域で進められている治水計画への協議について、「地域での協議について定期的な協議を行える支援」「そのための情報提供」「協議状況の地域への周知」「他地域との連携の橋渡し」「必要な資料の提供」を求め、対応するとの答弁を得た。その後どう対応したのか。

建設政策課長　江の川流域治水推進室が説明会を開催した地区では、アンケート調査で地域の意向を取りまとめ、その内容に基づいた計画案の作成を進めている。対象地域住民へ説明する前に協議会役員と協議を行い、初回説明会で出された意見が反映された内容となるよう調整を図って説明会を開催する予定。そのため、内容確認で時間がかかっている地域もあるが、行政と住民で認識のずれがないよう進めている。地域間の橋渡しについては、行政側が主導していくと答弁しており、地域間のニーズを把握して橋渡しを務めたい。資料や情報提供については、国土交通省が各地区の測量に入り概略図の作成などを行っている。江津市としても、9月定例会へ防災集団移転促進事業の委託費を予算提案しており、住民の判断に必要な情報・資料を提供できるよう準備している。

多田　6月定例会では、計画への要望書を提出した地域へ、回答を出すよう求めた。その後、要望書へどう対応したのか。

建設政策課長　要望書は桜江町大貫和田地区・川平町田野地区・松川町長良地区・桜江町谷住郷臼木地区から提出されている。大貫和田地区は堤防の整備推進を要望しており、7月に江の川流域治水推進室へ提出した。川平町田野地区は地元説明会で要望書への回答を行い、要望を加味した計画案を提示した。松川町長良地区と桜江町谷住郷臼木地区については、要望内容や河川整備計画を加味した計画案を作成中で、地元説明会で回答する予定。提出された要望書は、江の川流域治水推進室で国・県とも情報共有し、計画に反映するため、地域との協議を重ねる。

《次週へ続く》

お悔やみ申しあげます（敬称略）

11日	平芳正	(86)	敬川町
13日	盆子原吉男	(92)	和木町
13日	近原ヒデヨ	(97)	桜江町後山
15日	階本カズコ	(91)	桜江町大貫
16日	新田美代子	(86)	都治町
16日	本山幸子	(77)	江津町